

平成 30 年 5 月 16 日

苗穂駅新駅舎の開業日について

苗穂駅については、札幌市が実施する苗穂駅周辺地区まちづくり事業により、駅を札幌方に移転し、橋上駅舎化を図ることとして、平成 25 年 8 月に札幌市と工事協定を締結し、同年 9 月に構内施設移転工事、平成 28 年 9 月に新駅舎建設工事にそれぞれ着手し、工事を進めております。

この度、新駅舎の開業日を平成 30 年 11 月 17 日に決定しましたのでお知らせいたします。

1、新駅舎の開業日

- ・平成 30 年 11 月 17 日（土曜日） ※札幌市自由通路も同日供用開始（駅前広場は暫定供用）

2、駅移転・橋上駅舎化、自由通路整備等の事業概要

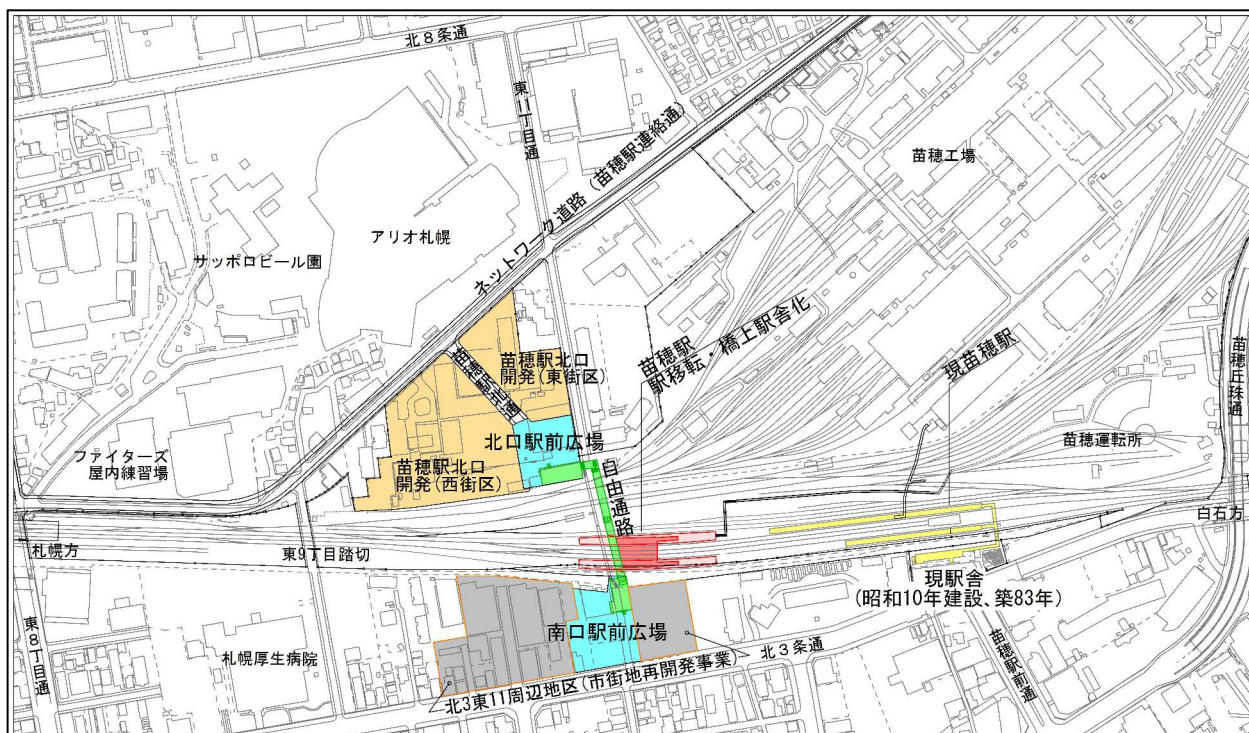
(1) 駅移転・橋上駅舎化【当社施設】

- ・事業主体 札幌市
- ・建設主体 当社
- ・事業費 約 52 億円
- ・整備内容 駅移転（現苗穂駅より約 300m 札幌方に移転）、橋上駅舎新設、構内配線変更等
- ・構内施設 [ホーム] 2 面（札幌・小樽方面 1 面、岩見沢・苫小牧方面 1 面）
延長 135m（6 両対応）、幅員 6~9m
[新駅舎(橋上駅舎)] 鉄骨造 2 階建、延床面積約 1,450 ㎡
エレベーター 2 基（15 人乗、スルー型）
階段 4 箇所（各ホーム 2 箇所）
旅客用トイレ（多機能、男性用、女性用）

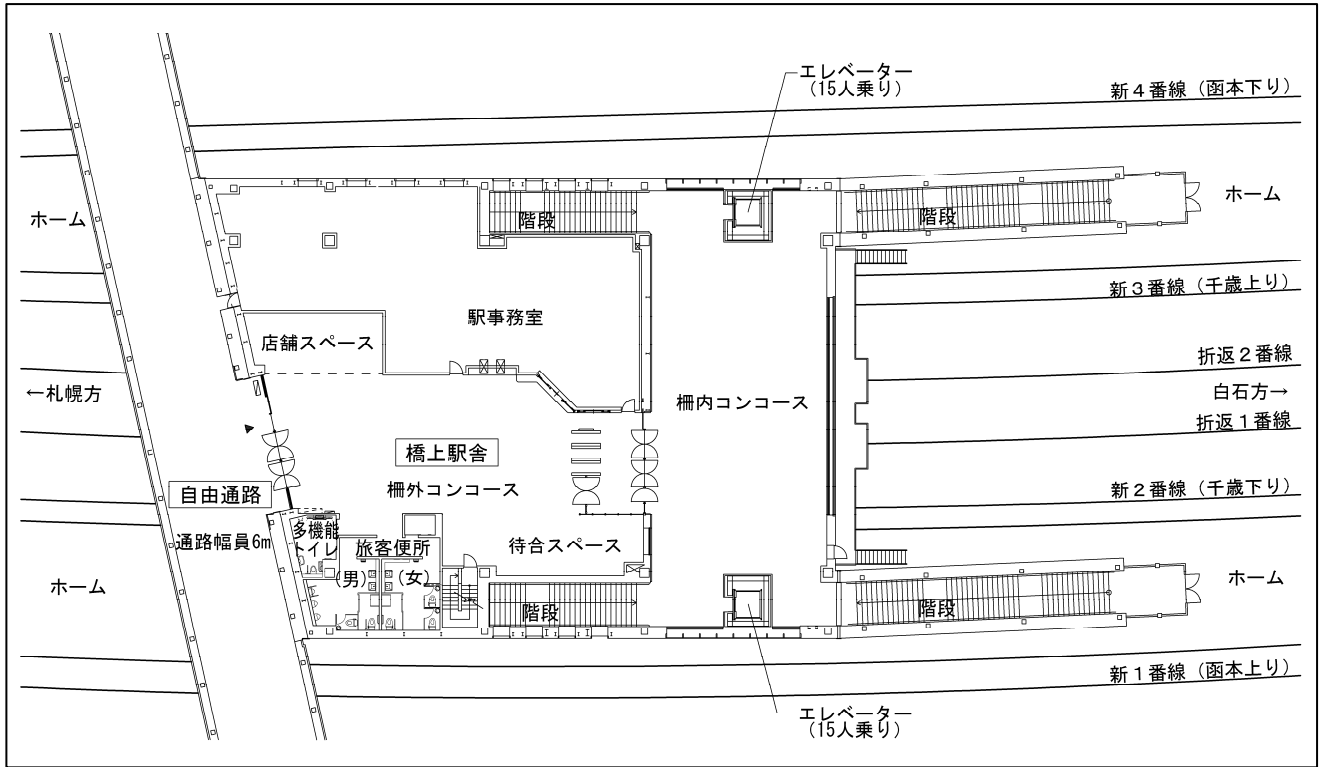
(2) 自由通路・駅前広場整備【札幌市施設】

- ・自由通路 通路部（延長約 130m・有効幅員 6m）、南口昇降棟、北口昇降棟
- ・駅前広場 南口駅前広場（面積約 5,000 ㎡）、北口駅前広場（面積約 3,800 ㎡）

【苗穂駅周辺地区まちづくり事業 全体概要図】



【新駅舎平面図】



【完成イメージ図】



<南口全景>



<北口全景>



<駅舎 エントランス(自由通路側)>



<駅舎 柵外コンコース>

～新駅舎のデザインの特徴～

- ・レンガにより苗穂の歴史性と地域性を表現 (ホーム階外壁、エレベーターシャフト等)
- ・列車の行き交う光景を眺めることが出来る改札正面のガラススクリーン

【参考】自由通路：南北昇降棟1階内壁に一般公募(主催：苗穂駅周辺まちづくり協議会 苗穂駅刻印レールプロジェクト事務局)した刻印レール (申込受付バー・名前・住所を刻印、計842枚)を設置